

#01.ゆるーい幼馴染のゆるーいお誘い♪

//あなたの家・あなたの部屋

「ん…あ～おかえり～」

「ん～勝手に上がらせてもらってた～」

「いーじゃん別に今さら。私とあんたの仲なんだし」

「それとも…迷惑だった？」

「ん…なら良かった…」

「んーとね、ちょっと相談？　があってさー」

「んと…なんていうかね…」

「その～エッチな事、してみない？」

「ふふっ…何その反応～」

「いや、ごめん。流石に唐突過ぎたかも。さすがのあんたでもそうなるよねー」

「んー…いや、ちょっと興味がわいたって言うと…あれなんだけどさ」

「私もそろそろそーゆーの、経験してみたいかもって思ったの」

「そっちも興味あるみたいだしー？」

「いや…あるでしょ？ 嘘は良くないぞー？」

「だって教室で時々聞こえてくるもん…男子のそーゆー話」

「だからさ…まあ、そっちが嫌じゃないんだったらさ、しようよ」

「えー？」

「いや、こーゆーの頼めるのはあんたしかいないでしょ」

「よく知りもしない相手とするのは嫌だし？」

「…それにまあ、私がこんな事言っても、誰にも相手してもらえないで
しようよ〜」

「あ…もしかして…あんたも私が相手じゃ嫌？」

「あ〜一瞬迷ったな」

「ぷっ…ふふっ！ なんてね〜」

「まあ、嫌じゃないんだったら良かったよ…」

「ほんとーに」

「ん…こっちの話」

「じゃ、早速お願いしようかな〜♡」

「よろしくね〜」